

子どもの成長する姿は保護者にとって喜びでもありますが、同時にぶつかり合い辛い思いをすることもしばしば。多感な年頃の子どもを持つ親としてどう子どもに接していけばいいのか、そのアドバイスがいただければと本校カウンセラーの堂籠やよい先生にお話をうかがいました。

「**カウンセリングをする際に相談者が話しやすく
なるよう先生が心がけて
いらっしやることは
ありますか？**」

話しやすい雰囲気という事においては相談者にどういうものが好きか、暇な時にはどんなことをしているのかなど、できるだけ共通点を探すような形で聞いていきます。高校生ぐらいになると分別ができてくるので、「これは親には言えない」とか「ここは自分で解決しないといけない、人の力を借りたくない」という、いくら親であつても言いづらいつ感じることが出てくる時期です。もう少し成長してこの時期を通り過ぎると、またざつとくばらんに言えたりするので、それができずに頑張ってしまう。問題は一方から見ると大人とわかるわけで、色々な意見を大人とか

呼吸を合わせて 心を合わせて

～スクールカウンセリングの現場から～

「**男子と女子では話し方や接し方など変えているのですか？**」

男子・女子というより、その子の言葉とか話し方に合わせるようにしています。私たちカウンセラーがよく言うのは「呼吸を合わせる」ということ。その子がせかせかせかした呼吸のときは一緒にせかせかせかした感じでしゃべり、ゆつくりしたしゃべり方だったらゆつたりした呼吸で合わせていくと、なんとなくその子の感じ方が伝わってきます。私たち大人は多分、自然に相手の話し方に合わせて話すのですが、カウンセリングのときもそういうことが大切で、内容や表情から本人が訴えていることに注目していきます。

「**保護者へのメッセージをお願いします。**」

この思春期の中高生の時期は自分らしさだとかアイデンティティーとかを身につける時期と言われています。その前の段階が身についていないお子さんも多いです。自分でやってみる、踏ん張ってみる。できなくて恥をかく、上手くできなくてすごく自分がみじめになる、そういうマイナスの感情も味わうことで子どもは強くなります。そこを親たちは可哀そうだ、恥をかかせたくない、劣等感を感じさせたく

ないために、「いいのよ大丈夫、何とかなるよ」と言ってしまう。でも場合によっては「駄目なのは駄目なんだからちゃんとやらない」と、きちんと言えてほしいのです。グッドワードも大切ですがパッドワードもちゃんとやってほしいと思います。今の保護者は子どもを上手に褒めたり、「そのままいいよ」という言葉は多分言つてらっしやいます。特に甲南高校のお母さんたちは子どもを尊重しています。しかし駄目なことは駄目と言つてあげることも大事です。失敗したときに子どもが自分で自分の気持ちを立て直すことができるように見守つてあげたり、立ち上がろうとしたときに手を引いてあげたりしてほしいと思います。

「**インタビューを終えて、**」

カウンセラーの先生ということで、少し緊張してうかがいました。しかし実際にお会いしてみるととても柔らかくあたたかい印象で肩の力が抜けました。子どもたちもリラックスして相談が出来るのではないかと感じました。貴重な機会をありがとうございました。

「**カウンセリングは保護者も受けられます。申し込み方法は四角をご覧ください。**」



どうも
堂籠やよい先生

鹿児島大学院人文研究科
 学科卒業後、臨床心理士の
 資格を取得。保健センター、
 病院、学校などで勤務。
 本校には5年前から月に2
 回ほどスクールカウンセラ
 ーとして勤務している。



学年懇親会

7月4日(金)

各学年のPTA懇親会が開催され、多くの出席者で盛り上がりました。

一年生の懇親会では先生方の紹介資料に手描きの似顔絵が描かれていました。特徴などを捉えた似顔絵を見ながらお話を聞けて先生方との距離が縮まった気がします。
(一年保護者)

昨年に引き続き今年も出席しました。食事をしながら先生方や他の保護者の方と語り合えてとても楽しいです。来年もぜひ参加したいと思います。
(二年保護者)

学校の事が良く分からない中、いろいろと情報交換できたことがとても良かった。
(一年保護者)

修学旅行の映像と様々なエピソードが楽しかったです。特に上野先生の絶妙なトークに会場中大爆笑でした。涙が出るほどあんなに笑ったのは久しぶりでした！
(二年保護者)



(3学年懇親会の様子)

子どもから聞けない色々な情報をGETできます!!
(二年保護者)

進路について、学級の事、我が子の様子など、普段ゆっくり聞けないので先生を独り占め(笑)して聞くことが出来たので、参加してラッキーでした。
(三年保護者)



平成二十六年PTA研修視察

七月十五日(金)、多数の保護者が参加し鹿児島大学郡元キャンパスの稲盛会館で法文学部・工学部・農学部の説明を聞きました。

各学部の説明の後、甲南高校卒業生である先輩お二人から、高校生時代の生活や受験の思い出、現在の充実した大学生活の様子を聞きました。



学部ごとの特徴や授業内容など丁寧な説明に参加者一同熱心に聞き入っていました。

参加者のコメント

プレゼンされた先輩たちのお話がとても興味深く、そして、とても楽しく聞けた。子ども達もこの先輩の話聞ける機会があるといいなと思いました。

第33回 薩摩半島縦走 10月17日(金)

雲ひとつない秋空の下、今年も枕崎から知覧までゴール目指して駆け抜けました。

〈縦走コース〉

Aコース (男子): 枕崎市火の神公園～知覧テニスの森 (40 km) Cコース (男子): 枕崎市火の神公園～知覧武道館 (27 km)
Bコース (女子): 鹿児島水産高校前～知覧テニスの森 (33 km) Dコース (女子): 鹿児島水産高校前～知覧武道館 (20 km)



出発地点の火の神公園からの朝焼け

中継地点の知覧武道館で提供する飲料水や補給食、この行事の伝統となっているゴール地点知覧テニスの森での「レモンティー」などの前日からの準備、当日のエイドステーションの運営、終了後の片付けなどに保護者も参加しています。

甲南Q&A～あなたは知っていますか?～

- ① 体育祭伝統の一つ、浴衣を着てのフォークダンスはいつ頃から?
- ② 同じく体育祭の名物競技「甲南生の一日」はいつ頃から?
- ③ 薩摩半島縦走第一回のスタートはどこで、距離は何km?
- ④ 平成27年2月現在、甲南高校OB・OGの先生方は何人でしょうか?

甲南Q&A答え

- ① 昭和25年ごろに提案され実施されました。「懐かしのメロディー」という種目名で、おはら節などの民謡が主だったために、当時から3年生の男女が浴衣姿で踊るというスタイルであったようです。
- ② 昭和52年に、それまであった「甲南劣等生」を改名、内容の改訂を経て実施されたようです。
- ③ 昭和57年度から。それまで行われていた妙円寺遠行に代わる鍛錬行事として実施され現在まで続いています。
Aコース（主に男子）枕崎市火の神公園から平川駅まで4.7km
Bコース（主に女子）松ヶ浦小学校前から平川駅まで3.3km
- ④ 校長先生・教頭先生（お二人）を含めて13名です。



学校カウンセリングについて

本校では生徒の健やかな学校生活を支援するために、年に20回のカウンセリングを実施しています。生徒だけでなく、保護者の皆さんも申し込むことができます。希望する際は以下の要領で申し込んでください。

【申し込み手続き】

- 1 担任か養護教諭へ電話（254-0175）で申し込み
- 2 日程を調整し、折り返し担任・養護教諭より連絡
- 3 カウンセリング当日（場所は東校舎1階の保健室横、第2保健室です。）

【H26年度の実施日程】（H27年度の計画は、PTA総会で案内します）

4月：24日(木)	8月：28日(木)	12月：19日(金)
5月：15日(木)・29日(木)	9月：11日(木)・29日(月)	1月：15日(木)・29日(木)
6月：3日(火)・19日(木)	10月：7日(火)・30日(木)	2月：12日(木)・16日(月)
7月：14日(月)・29日(月)	11月：11日(火)・25日(火)	3月：19日(木)

※ 時間帯は毎回13:30～16:30(1回30分程度)の予定です。

編集後記

今年度の年間テーマは「学校に関する知りたいことが伝えられる新聞」でした。目を通す皆さまが興味を持ち親しんでくださるような内容にしようと部員一同頑張りました。今回インタビューを受けていただいた堂籠先生の取材は穏やかな雰囲気の中でさせていただきましたが、紙面の都合で一部割愛させていただいた事をお詫びいたします。

発行にあたり、お忙しい中取材に協力いただいた先生方、関係者の皆さまに心からお礼を申し上げます。
後期担当 広報部員